

プレミアムカフェ K～亀山紅茶「べにほまれ」kiseki～ について

○日時 平成 27 年 2 月 15 日（日）

○場所 東京都中央区日本橋室町 2-4-1 浮世小路千疋屋ビル「YUITO ANNEX」
三重県首都圏営業拠点施設「三重テラス」2階多目的ホール

○主催 亀山市

○共催 亀山 kiseki の会

○内容

- ・ 亀山紅茶のトップブランド「kiseki」（べにほまれ）試飲
- ・ セミナー 日本紅茶の歴史と「べにほまれ」の軌跡
講師 日本茶業技術協会会長 武田善行 氏
- ・ 亀山紅茶販売
- ・ 亀山市プロモーション
パネル、パンフレット展示等（観光、物産等）

*入場無料

○亀山紅茶背景

戦後～昭和 40 年代にかけて、当市でも盛んに生産された国産紅茶。当市は、昭和 30 年から市内特産紅茶の大成を目指した経緯があり、昭和 35 年度には 83ha の作付実績を誇り、当時、故川戸勉氏による製品は、全国茶品評会や国産優良紅茶大量品評会において毎年のごとく優勝し、亀山市の紅茶は全国から注目を集め、その品質は世界に通用するものでありましたが、昭和 46 年の紅茶輸入自由化以降、国産紅茶の低迷に同じく、市内の紅茶園もそのほとんどが緑茶品種に転換され、当市の紅茶産業はその幕を閉じ、現在に至っていました。

平成 24 年、かつての亀山紅茶を復活させようと始めた亀山紅茶復活再生プロジェクトは、布気町及び安坂山町に現存していた国産紅茶 1 号品種「べにほまれ」を活用し、市内の茶業関係者による団体「亀山 kiseki の会」、中日本高速道路(株)、三重県、市で取り組んでいる事業であり、かつてのように世界グレードの紅茶の復活を目指しています。

平成 24 年度から「亀山市地域特産品発掘等事業補助金」を活用し、商品化は 3 年目となり、三重県中央農業改良普及センター及び三重県農業研究所茶業研究室による研究や指導により、その品質は年々向上し、紅茶の専門家にも高い評価を受ける高品質な製品となっています。

また昨年度においては、各テレビ局や報道機関にも取り上げられ、知名度も上昇、「亀山紅茶」としてのブランド化が定着しつつあります。

○開催趣旨

今回のイベントは、亀山市シティプロモーション第3弾として、会場をカフェテラスに見立て、都会の様相にマッチングしたプレミアム感を演出する中で、亀山紅茶のトップブランド「kiseki」（べにほまれ）試飲会及び紅茶セミナーを実施し、首都圏の紅茶愛好者等に向け情報発信を行うことにより、亀山産紅茶の希少性と高品質性、さらに歴史性について、その関心を高めていただき、今後の紅茶生産をはじめとする市内の茶業振興に繋げるため開催するものです。

イベント詳細

○イベントスケジュール

開催時間（カフェ開店時間）	11:00～16:00
うち、セミナー開講時間	11:30～12:00 14:30～15:00
	*セミナー後、ティータイム

○セミナー *事前申し込み制

日本紅茶の歴史と「べにほまれ」の軌跡

講師 日本茶業技術協会会長 武田善行 氏

講師の武田氏は、国の茶業試験場研究員を経て、野菜・茶業試験場の研究部長、茶業研究官を努め、長年、枕崎試験場にて、紅茶の研究を行い、「べにふうき」の生産に深く携わった経歴があり、和紅茶生産の第一人者として他の認めるところであり、亀山紅茶の生産にも指導や意見をいただいています。

申し込み先

亀山市市民文化部関支所 観光振興室

Tel.0595-96-1215 E-mail: kankousinkou@city.kameyama.mie.jp

○亀山紅茶販売

亀山kisekiの会による亀山紅茶販売ブースを設置し、下記の商品の手売りを行う。

- ・べにほまれ 「kiseki」、「天使のしずく」
- ・その他和紅茶 山六製茶、市川大楽園製茶、伊達製茶

「天使のしずく」について

平成26年度産のべにほまれ紅茶のうち、手摘みされた良質な茶葉だけを使い、限定生産したプレミアム製品。亀山Kisekiの会では、この商品の収益を地域のNPO団体・社会的企業に全額寄付しているとのこと。